

162混合機、粉碎機を起因物とする死傷災害100事例 (-2017年)

No	年	月	発生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	小業種	労 働 者 規 模
1	2017	12	9~10	コーキング工場13号ニーダー（混練機）で、内部羽根を低速回転させながら洗浄（拭き取り）作業を行っていたとき、足場が滑り、咄嗟に左手で混練機壁面をつかんで体を支えようとしたところ、回転してきた羽根に左手を巻き込まれた。滑り易い床（足場）の清掃が不十分で、拭き取り作業時には羽根を一旦停止させるルールが徹底できていなかった。他の作業者が羽根を逆回転させて救出したが、左手親指付け根に大きな裂傷を負った。	46	7	10801	30 ～ 49
2	2017	12	6~7	事業所内作業場にて、攪拌機の清掃作業中、蓋を開けて中を清掃しようとした際、誤って蓋が倒れ、機械の攪拌棒が動き、左腕をもっていかれ、左前腕を負傷した。攪拌機は、蓋を開けると安全装置が働くもので、清掃の際は必ず電源を切って作業することになっているが、被災者は電源を切ったものと勘違いした。	23	7	10109	30 ～ 49
3	2017	11	7~8	腕力バー付ゴム手袋を右手にはめて溶解槽底部の溶解確認作業で、溶解用攪拌器の停止スイッチを押して惰性回転している攪拌器シャフトをつかんで早く羽根を完全停止させようとしたところ、停止スイッチを押したつもりが攪拌器が停止しておらず、シャフトに手袋が巻き込まれて右手指を負傷した。	47	7	10803	30 ～ 49
				造粒機にホッパへ肥料の原料を投入していた際、ホッパの内側にこびりついた原料を鉄製の棒（長さ180cm）でそぎ落とそう				

10	2017	10	16～ 17	一次プラントの運転を停止して、一次クラッシャーの鬼歯付近の清掃をしていたところ、プレートフィーダーにひっかかっていた石がころげ落ち足にあたり、クラッシャーの中に頭から転落した。	54	1	20201	10 ～ 29
11	2017	10	10～ 11	医薬品製造工場の丸剤製造作業室にて、練っていた（練合）原料の固さを確認する際、停止すべき練合機（回転羽4枚付）が稼働している状態で手を入れ、回転羽が交わった時に巻き込まれ左手人差し指・中指を負傷した。	22	7	10803	30 ～ 49
12	2017	10	7～8	原料を混練りする設備（ミキサー）において製造品種切替停止の際、内部の掃除を行っていた。内部回転体（ローター）に異物がかみこんでおり回転負荷が高かったため、除去する為に手でローターを押していたところ、急に負荷が軽くなりローターとフタに指を挟まれ中指（右手第一関節）が切断された。	39	8	10909	50 ～ 99
13	2017	10	8～9	当該事業所においてミキサーの刃をスポンジで洗浄していたところ、ミキサーの刃に触れてしまい、誤って左手第四指を切創してしまった。	23	8	80209	1～ 9
14	2017	10	15～ 16	工場の外で粉碎機の掃除を行い、工場内へ粉碎機の移動中、入口で勢いをつけて押した為、粉碎機のバンラスが崩れ粉碎機が倒れ足を骨折した。	43	6	11709	10 ～ 29
15	2017	10	15～ 16	厨房でミキサー使用中、回転が止まったと思い込んで食材を取り出そうとしたところ、まだ動いていたため、右手人差し指と右手中指を切創した。	40	8	80209	10 ～ 29
16	2017	9	15～ 16	フライヤーラインの粉付け機の清掃時、投入口に残った粉をスクレーパーコンベア下部に落とそうと、右手で投入口を叩いている時に、右手が滑り、横送り回転羽と投入口カバーの間に右手首が挟まった。	56	7	10101	100 ～ 299
				事業所工場内のミソ充填室において、ミソをすりつぶす作業のため、ミソ漉機（全味号）を使用していたところ、ミソがスク				

17	2017	9	13～ 14	リユーにうまく巻き込まれず、上部に浮いた状態になっていたため、直接手で（ゴム手袋装着）上から押し込もうとした際、誤って右手中指がスクリユーに巻き込まれ負傷したものである。	39	7	10109	10 ～ 29
18	2017	9	14～ 15	消石灰サイロからの落とし口の点検口隙間より、消石灰が吹き出しを確認、つまりが発生したと思い、点検口を開け清掃作業を実施しようとした際に、点検口内上部に右手を入れてしまい、フィーダー部（回転物）に右手中指が接触し切断した。 (別途補足資料参照)	40	7	170209	10 ～ 29
19	2017	9	15～ 16	製砂プラントのプレス機で開砕中に泥を落とす作業をしていたところ、開砕装置に上着のスソが引っ掛かりバランスをくずし倒れそうになったので、手をついたところ開砕装置にはさまれ左手甲を圧迫され負傷した。	45	7	10909	10 ～ 29
20	2017	9	16～ 17	糊を攪拌中の攪拌機に、椅子の合板に利用する糊をとりに行った際に負傷。攪拌機内側の上部にこびりついた糊を取ろうとしたのが、右手を入れ、回転している心棒の糊にアームカバーが付き、右腕が心棒の回転にひっぱられ、腕が変形した模様である。	64	7	10402	30 ～ 49
21	2017	9	9～ 10	当日は整備作業実施につき、作業を簡便化するため制御盤のドアを人為的に開放していた、攪拌棒の作動スイッチを入れる際、無意識のうちに予備発泡機の開放口に手を置いていたため左手は予備発泡機開放口、右手が作動スイッチという状況になっていた。作動スイッチをオンにしたので攪拌棒が回転を始め、予備発泡機開放口に触れていた左手の人差し指が攪拌棒と予備発泡機の間挟まり巻き込まれ、裂傷及び骨折に至った。	30	7	10805	30 ～ 49
				当社生コンプラントにおいて、当日の生コン出荷後、生コンプラントのミキサー部の清掃作業中に右手にミキサー回転翼ス				30

22	2017	9	16~ 17	イッチ、左手に洗浄銃を持ってミキサー内部を清掃中、誤って洗浄銃と回転翼に挟まり、あせって引き抜こうとしたら逆の手を取られ回転翼に左手を巻き込まれ、左手デクロービング損傷、左環指基節骨骨折を負った。	31	7	10901	~ 49
23	2017	8	9~ 10	当事業所敷地内にて、採石場で破碎機の内側上部の部品（長さ30cm、約4kg、鋳銅製）と、下部の部品（外側から）の交換作業を3人で行っていた。上部の部品をバーナーで切断してネジを外そうとしたが、錆ついて外れず、ネジ内に鉄棒を入れて叩いていた。その際、落下に備え、アルミバケツを機械の隙間に軽く固定し、左手で取っ手を掴んでいたときに、突然部品が外れてアルミバケツに入った拍子に重さに耐えられず、手から滑ってしまい、アルミバケツごと落とした。それが足元（機械底から高さ50cm程）に落下した。アルミバケツから部品が飛び出し、下部の部品の交換をするためにしゃがんで作業していた被災者の右眉辺りに部品が当たり負傷した。	60	4	20201	1~ 9
24	2017	7	10~11	当社工場内において、肥料配合機で作業中、異物（袋）が混入してしまい、それを除去するにあたって、機械の停止ボタンを押さずに、機械作動のまま取り出そうとして、スクリューに右手の指が巻き込まれ負傷した。	53	7	10809	10 ~ 29
25	2017	7	16~17	工場内で砂の混錬機の掃除中、羽根の方向を変えようと右手を混錬機の中においたまま左手でスイッチ（レバー）を入れたため右手指が羽根に巻き込まれ負傷した。	48	7	11102	10 ~ 29
26	2017	7	7~8	破碎機プッシャーのリミットスイッチを押すために左手で本体清掃口に手をかけたところ、プッシャーが後退してきて本体とプッシャーの間に手を挟まれたものと思われる。	60	7	150101	~ 29
				剪定した木の枝を粉碎するため、借用した粉碎機を稼働して粉碎作業を実施していた。木の枝はこのところの雨により湿っていた状態であり、粉碎機の排出パイプに粉碎した木片がつまっ				

27	2017	7	16~17	た。つまりを直そうと脚立にのぼり、排出パイプ排出口のつ まった箇所に電線ケーブル（約15mm径）を入れて突いていた ところ、電線ケーブルが貫通し粉碎機の回転部に巻き込まれ た。電線ケーブルに引っ張られ、右腕に絡まって被災した。	69	7	150101	1~ 9
28	2017	7	16~17	工場化学材料チームの作業場内において、上寸ボールミル架台 を使用しているコハク酸二ナトリウムの粉碎作業中、本来、機械 を止めてから清掃作業をするところ、機械を止めていなかった。 そのため、右手に持っていたウエスが機械に巻き込まれ、 右手母指の指先骨折および、右手甲に裂傷を負ったもの。	30	7	170101	100 ~ 299
29	2017	6	8~9	当社工場にて添加物の混合作業中、誤ってブレンダーの機械の スイッチを押してしまい、上半身（特に左腕部分）が挟まれ、 怪我をした。	51	7	80109	10 ~ 29
30	2017	6	8~9	ステンレスドラムに樹脂、溶剤をディスパーで攪拌しながら、 ビニール袋に入った端数顔料を仕込む際、袋がディスパーシャ フトに巻き込まれ、袋を持っていた左腕も同時に巻き込まれ た。	22	7	10808	50 ~ 99
31	2017	6	16~ 17	土間工事でモルタルを練る機械を洗浄していた際、モルタルを 練る羽を動かしながら、機械に付いているモルタルを取り除く 作業中に、羽に指が挟まり負傷した。	70	7	30209	1~ 9
32	2017	6	23~ 24	手狭な分級工場合金室内で、2400L空ドラムを定位置に移動 し、安置のために微調整をかけている時に荷振れが発生し、床 面に固定してある混合器と、移動させていた空ドラムに左足を 挟まれ、左足くるぶし内側を骨折した。原因は、大きな荷振れ を発生させてしまった事、室内が狭くて物が溢れていた事、移 動対象との距離が取れず、かつ周囲の物にぶつけないで移動さ せると言った細かな作業が求められた事によるものである。	46	7	11109	100 ~ 299
				第1工場の製鋼現場で、新しく購入したコンクリートミキサー				

33	2017	6	13～ 14	を使って、耐火材を練る作業を行い、そのミキサー内の清掃作業を行っていたところ、板状の回転物に右手の人差し指と中指の先を挟んでしまい、指先を裂傷した。（皮手袋を着用していた。）回転物が確実に停止したことの確認、作動防止対策（コンセントを抜くなど）をしていなかった。	23	7	11002	50 ～ 99
34	2017	5	16～ 17	工場内中子造型場にて、作業終了作業の清掃で、砂混練ミキサーのスイッチが入っているにもかかわらず清掃を行い指を挟んでしまった。	23	7	11002	10 ～ 29
35	2017	5	14～ 15	出向した被災者は、当該飼・肥料製造工場内で、飼・肥料の製造作業中、各スーパー店舗から納入された食品廃材（原料）と米ぬかを自動攪拌機に投入し、混合させていたところ機械内の攪拌回転軸2本のうち1本が停止した為、軸と付属している攪拌羽（長さ20cm×幅10cm、鉄製）を右手で押した際に突然回転軸が作動し、攪拌羽と機械内側壁の間に右手中指と環指を挟んだ。（ゴム手袋着用）	67	7	10109	1～ 9
36	2017	5	15～ 16	造成工事現場において、小型コンクリートミキサーを操作し、セメントを練る作業中、ミキサーの底が固まり作動しなくなったため、手を入れ固まったセメントを取り除こうとした時にスイッチを切り忘れていたため突然動き出し、右手中指が巻き込まれた。	28	7	30209	10 ～ 29
37	2017	5	9～ 10	会社第三作業場で、粉碎・破砕用ドラムローラー部にて指を挟まれ、右示指・中指・環指挫滅創を負った。	48	7	11009	10 ～ 29
38	2017	5	9～ 10	原石投入ホッパー内でクラッシャー内部に詰まった原石を取り除く作業中に、ホッパー内から出ようとした時に手摺りがあったが掴めず、体のバランスを崩し、ホッパー横から約3m下のコンクリートの床面に背中から墜落した。	57	1	20201	1～ 9
				工場内試験室にて試験練りを実施する為、材料と道具等の準備				

39	2017	4	10～ 11	をしていた際、生コンミキサーを運搬後に固定する為、4ヶ所あるストッパー（踏込式）を順番に掛けていた時、モーター下部にあるストッパーを斜めから右足で踏み込んだ際、右ふくらはぎに激痛が生じた。	38	19	10901	10 ～ 29
40	2017	4	18～ 19	射出成形工場で、再利用するために樹脂を粉碎する機械（粉碎機）内に持っていた離型剤（ステンレス製スプレー缶）を手を滑らせ、落としてしまった。その際にスプレー缶が粉碎機内で破裂、破碎され、跳ね返った破片で手を負傷した。	35	4	10805	30 ～ 49
41	2017	4	9～ 10	工場内で粉碎作業中に、粉碎機の手を入れてはいけない部分に不注意で指先を入れてしまい、左手の中指の先を損傷した。	32	7	10805	10 ～ 29
42	2017	4	18～ 19	工場内でそばを製造するミキサーを清掃中、左腕をミキサー内に入れたまま、寸動スイッチを押してしまった。その結果、左腕をミキサー内の羽根に巻き込まれ、左手の薬指を骨折し、左腕の肘付近を挫傷した。	58	7	10109	30 ～ 49
43	2017	4	13～ 14	養豚舎内調整室で、豚の配合飼料攪拌機清掃作業中、攪拌機内の羽根が完全に停止する前に、左手で飼料を寄せた時に羽根に指を挟まれ負傷した。	66	7	70101	50 ～ 99
44	2017	4	15～ 16	草木集積場にて破碎機を使用して竹を破碎する作業の時、作業が終了したので、清掃をするためエンジンを切り、惰性で刃が回転し完全に止まっていない状況で刃の点検口を開けようとしたため、点検カバーと刃が接触し、持っていた左手がプレートと破碎機本体に挟まり、左手人差し指・中指・薬指の第1関節部を切断した。	34	7	30309	100 ～ 299
45	2017	4	13～ 14	プラスチック粉碎機ホッパー設置工事において、被災者と同僚でフォークリフトを使用し、ホッパー（プラスチック投入口）の取り付け作業中、ホッパーが滑落したので慌てて飛び降りた先にホッパーが落下し、両足を負傷した。	27	5	30203	1～ 9

46	2017	4	11~ 12	コンクリート試験室にて生コンの試験練りを実施し、終了後に試験練りミキサーに水を入れうがい洗浄中、電源を止めずに洗車ブラシでミキサー内側壁を洗う不安全作業をしてしまい、回転しているミキサーの羽根に洗車ブラシごと右手の甲が巻き込まれ受傷した。	25	7	10905	1~ 9
47	2017	3	14~15	工事現場内で、縁石ブロック据付に使用するモルタルをモルタルミキサーで砂とセメントを攪拌中、右手で搬出口にこびりついたモルタルを払おうとし、咄嗟に手を入れてしまい、回転翼にはさまり、右手中指第一関節を切断した。	19	7	30199	1~ 9
48	2017	3	19~20	被災労働者は、成形作業を行っていた際、成形機表側の粉砕機の中に手を入れランナーを引っ張って取り除いていた。しかし、一度ではうまく取り除けず残っていた為、さらに奥まで手を入れ取り除こうとした時、左手中指が粉砕機の刃に巻き込まれ負傷した。	19	7	10805	50 ~ 99
49	2017	3	10~11	整備のため破砕機の電源を切って油を注入しようとしたところ、自らがバランスを崩して左をついた所が、完全に止まっていない破砕機のVベルトであったため左手を巻き込まれて、手の指・手の甲・前腕の計5箇所を骨折した。	29	7	150102	1~ 9
50	2017	3	11~12	工場内にて攪拌機で粉体と水を混ぜる作業を機械上部で行っていた時、上蓋が割れその際、足を取られ巻き込まれてしまった。	27	7	150101	100 ~ 299
51	2017	3	11~12	破砕機の高さ1mくらいの台上で、プラスチックの投入作業をしている時に足を踏み外し、投入台横の斜面から滑り、台を滑り降りるようにして地面に着地したとき、バランスを崩してよろけたところ、付近にあったコンプレッサのボンベに左脇腹をぶつけた。	69	3	150102	10 ~ 29
				被災者は、吹付プラントで吹付用コンクリート混練作業を行っ				

52	2017	3	13~14	<p>ていた。トラックミキサー車がプラントでコンクリートを積み込み、切羽部で吹付機のホッパーにコンクリートを出したところ、コンクリートと一緒にヘルメットおよび長靴が排出された。運転手がミキサー車内部を確認したところ、トラックミキサー車内部にチョッキ、ヤッケの切れ端を確認したので作業を中断し、第一発見者が吹付プラントのミキサー内に被災者を発見した。</p>	41	7	30102	10 ~ 29
53	2017	3	16~17	<p>破碎機の清掃作業中機械を止めずに清掃をしていて破碎機の歯車にシャツが巻き込まれ、右腕の肘から手首の間を裂傷し右目下部の顔も負傷した。</p>	53	6	80109	1~ 9
54	2017	2	14~15	<p>陶器用の土を製造するボールミルという機械を操作している時に、ボールミルの直径0.8mの回転する円柱状の部品にある土の投入口を、上にくるように電源の入切により当該部品を回転させ調整するところうまく出来なかった為、手動にて当該部品を回転させたため、その重量により頸部等に負担が生じ受傷した。</p>	33	19	130201	10 ~ 29
55	2017	2	17~18	<p>製造所2Fペール缶用の原料を溶解する場所で、原材料の紛体物を細かくしようと攪拌機にペール缶を置き、紛体物を入れた。他の作業者に声をかけ攪拌機の開始スイッチを押してもらったところ、手袋をはめていた右手が攪拌機に触れてしまい、回転体に右手が巻き込まれ右手中指を負傷した。</p>	26	7	10804	100 ~ 299
56	2017	2	14~15	<p>色物製造工程にて、ミキサー内製品の残りを手で掻き出しを行おうとした際、惰性で回転していた攪拌羽根に指が巻き込まれて、右手指を切創し、骨折した。</p>	30	7	10801	10 ~ 29
				<p>2階粉ミキシング室にて餃子の生地を攪拌機にて製造中、生地の状態を確認する為に機械の蓋を開ける。通常では蓋を開けるとリミットスイッチが機能し機械は停止する構造であったが、粉等によりリミットスイッチが固定してしまい、停止する事な</p>				300

57	2017	2	14~15	く稼働を続けてしまった。本来であれば直ぐに機械を止め、機械の不具合を直さなければならないところ、稼働した状態のまま機械の中へ手を入れてしまい、その際に攪拌棒に右手が挟まれ被災する。	20	7	10109	~ 499
58	2017	1	10~11	被災者が、作業所に於いて、粉碎機のモーターのベルト5本中1本のはずれに気付き停止させたが、完全に停止するのを待たず、大丈夫だと思い手が触れた瞬間に巻き込まれそうになり、すぐ手を抜いたが誤って右手人差し指・薬指の先を負傷した。	53	7	150102	—
59	2017	1	15~16	顧客工場内にて、製品前の砂糖を機械に投入する作業に従事していた。砂糖の塊が機械に詰まり、本来は機械を停止して棒を使って突き崩すところを、被災者は機械が動いている状態のまま手を伸ばして処理しようとしたところ、装着していた手袋ごと機械に巻き込まれた。	56	7	40301	30 ~ 49
60	2017	1	8~9	当社工場内で、コラーゲンを作るための牛皮を粉碎する機械の清掃をするとき、機械を止めたがまだ止まりきれていないのに右手を入れてしまい、人差し指と、中指を負傷した。	67	7	10807	1~ 9
61	2017	1	9~10	ごみを収集中に、左手に持っていたごみと共に左手を回転板に巻き込まれ、回転板を逆転させ手を引き抜いた。	43	7	150102	50 ~ 99
62	2016	12	9~10	工場内2階の製造室で、栗ペーストを1ミリミンチ機械に通す作業をしていた時、誤って左手をミンチ機にあててしまい、左第2指の先を切ってしまった。	46	8	10103	50 ~ 99
63	2016	12	15~16	工場内のギョウザ成形室でギョウザの皮のミキシング中、ミキサーの中から中身を出そうとしたところ、ミキサーのフタを開けるとミキサーが自動で停止するようになっているが、完全に停止する前に中に手を入れてしまい、ミキサーの芯と壁面に右手が巻き込まれ、骨折した。	40	7	10109	30 ~ 49

64	2016	12	11～ 12	工場に於いて、成形機で電動工具部品の成形作業中、成形された部品のゲートをニッパで切り取り、成形機の横に備え付けてある移動式粉碎機にゲートを投入したところ、ゲートが詰まったため、取り除こうとスイッチを切り、右腕を投入口から肩口まで差し込んだ時、惰性で回転していたカッターに右示指・中指先端部が触れ負傷した。	24	8	10805	30 ～ 49
65	2016	12	15～ 16	機械において粉碎袋詰め作業をしていた所、粉碎機のモーター部分に原料が詰まり停止した。安全カバーを取り外し原料を取り除いた所、急にモーターが動き出し、駆動ベルトに手袋を巻き込まれ手を負傷した。	65	7	10909	10 ～ 29
66	2016	12	10～ 11	粉体工場において混合機から全製品を取り出した後、取出口内に付着している製品を取る作業中、誤って混合機の回転スイッチを切らず、カバーを開けて作業を行い、右手の指3本を負傷した。	35	7	10809	10 ～ 29
67	2016	12	9～ 10	送電線敷地の伐採作業のため移動式破砕機を移動中、方向を変えるため何度か切り返したところ、傾斜地に対して真横になってしまい、傾斜方向に被災者と破砕機が転倒し、負傷した。	40	2	30309	10 ～ 29
68	2016	12	11～ 12	ふりかけ製造現場で生製品の切り替え時に行う清掃作業中、原料を混ぜるミキサーの上蓋スイッチを誤って押してしまった。半身をミキサーの中に入り出して清掃していたため、上半身を蓋に挟まれた。挟まれた圧力により、右肋骨を骨折した。	39	7	10109	100 ～ 299
69	2016	11	7～8	ペットボトル粉碎機輸送機内に粉碎物が詰まり、一旦機械を停止して詰まった製品を取り除き、機械の動作確認をし機械の蓋をしてスタートを行う掛け声を確認してスイッチを入れた時に、ごみがあったので手を入れた時に挟まれてしまった。	46	7	150103	10 ～ 29
70	2016	10	9～	パンの生地を専用機でこねる作業をしていたところ、生地がこねあがったので生地を取り上げるためストップボタンを押し、中の生地に手を差し入れたところ、正確にストップボタンが押	26	7	140201	1～

			10	せていなかったため、ミキサー部分に左手手首が接触し、負傷した。					9
71	2016	10	10～ 11	ミンチ肉を加工中の状況で、肉を投入するノズル部分に肉がつまり、ミンチ機のスイッチを切らずに、手でつまりを押し込もうとしたため、左手の指先が巻き込まれた。	27	7	80109		10 ～ 29
72	2016	10	11～ 12	あげ餅の生地作りの為に餅つきの準備をしていて、粉を練る機械の中に過って左手を入れてしまった。	64	7	10104		1～ 9
73	2016	10	10～ 11	製粉工場内で、業務用のミキサーを掃除中に、ミキサーの羽の部分が停止していない状態で作業したため、右手を羽に巻き込まれて右腕及び右手の甲、耳等を怪我した。	46	7	10109		1～ 9
74	2016	9	9～ 10	インペラブレーカーの点検中、ブレーカー下部の台上で、上部衝突板のボルトをゆるめていたところ、足が滑り落下し、右足の膝下をマール板で強打し打撲した。	41	1	10909		30 ～ 49
75	2016	9	16～ 17	コンクリートブロック製造工場の原材料を混練りするミキサの清掃作業を行っているときに、足場が悪く少し体勢を崩してしまい、ミキサ内部の鉄の部品の角部に左膝の内側をぶつけてしまった。	52	3	10901		10 ～ 29
76	2016	9	4～5	タンブラーの機械を回転させる場合、ハンドルを取り外さなければならぬが、取り忘れてそのハンドルに手をぶつけ、手の甲を骨折し、同時に足もぶつけ捻挫した。	30	6	10805		10 ～ 29
77	2016	9	16～ 17	農薬製剤の実験中、農薬の原料を混合機で混合後、排出口から排出し切れなかった混合粉を取ろうと禁止している「安全装置」を手動で解除し、混合機を運転しながら排出部に手を挿入した。手で払い落として作業を行ったことから、鋭利な排出口の先端に右手薬指があたり創傷し、更に前のめりに作業していた為、反射的に奥にある回転部に右手が入ってしまい、ミキシングアームで右手中指の第一関節上部を負傷した。	34	8	10801		500 ～ 999

78	2016	9	11～ 12	工場内にて自動粉碎機の稼働中に、左手の中指、薬指を巻きこまれ、停止ボタンを押したが間に合わず先端を負傷した。	42	7	170209	1～ 9
79	2016	9	9～ 10	ゴムの粒をモルタルミキサ内で打ち粉しシュート口から排出する際、このシュート口に被災者が右示指を入れ、モルタルミキサの回転している外羽根に巻き込まれ右示指を負傷した。	54	7	10805	10 ～ 29
80	2016	9	16～ 17	工場現場において、モルタルミキサーを使用後、洗浄する際、誤って回転している部分に手が触れてしまい負傷した。	36	7	30301	1～ 9
81	2016	8	15～ 16	排出口に溜まった残留物を排出する為、スイッチを入れ機械を作動させた。その際、清掃道具で使用する千枚通しを排出口に落としてしまい、その千枚通しを拾おうとして機械の作動中にもかかわらず咄嗟に手を入れてしまい、左手くすり指、中指の爪を?がしてしまった。	20	7	80109	1～ 9
82	2016	7	12～ 13	養殖業務にて、給餌作業終了後、攪拌機の中を掃除中、何か機械の中に引っかかっていた為、それを外そうと手を入れた瞬間に、スイッチのレバーが体に当たり、機械が動きだし、指を負傷した。	25	7	70209	10 ～ 29
83	2016	7	10～ 11	脱脂大豆取り出し工程で、攪拌機の駆動用平ベルトがスリップしたため、固形スベリ止めを攪拌機を止めず、安全カバーと配管の隙間から使用して巻き込まれ、安全カバーに右腕を強打して負傷した。	45	7	10109	50 ～ 99
84	2016	7	13～ 14	成形部署にて、成形後のプラスチックをスクラップする粉碎機の自動運転作業中、ホッパー内にランナーの詰りを発見しホッパーを取り外し床に置き、投入口から粉碎機を停止せず右手を入れて詰りを取り除こうとした所、急に粉碎刃がランナーを噛み込み、ランナーを掴んでいた右手が持っていかれ回転していた粉碎刃と接触し、右手中指先端を負傷した。	52	7	11409	100 ～ 299
				成形部署にて、成形後のプラスチックをスクラップする粉碎機の自動運転作業中、ホッパー内にランナーの詰りを発見しホッ				

85	2016	7	13～ 14	パーを取り外し床に置き、投入口から粉砕機を停止せず右手を入れて詰りを取り除こうとした所、急に粉砕刃がランナーを噛み込み、ランナーを掴んでいた右手が持っていかれ回転していた粉砕刃と接触し、右手中指を負傷した。	52	7	170101	300 ～ 499
86	2016	7	4～5	作業現場で、処分する枝を粉砕する機械を修理する際に、手を入れてゴミを取り除いていたところ、スイッチを切っていた刃が突然動き、手をはさまれてしまった。	51	7	30199	10 ～ 29
87	2016	7	2～3	混練ラインにて、コンパウンド空輸用ホースが抜け、クーリングタワー下の落し口にてコンパウンド詰まりが発生したため、落し口をバラして詰まりの処理を行った。落し口先の空輸用パイプが詰まっていないか確認しようと、通常では落し口を設置し空輸ブLOWER、空輸用回転体を運転するところを、バラした状態で運転し、コンパウンドを空輸用回転体に入れていて、軍手がまき込まれ右手人差し指を負傷した。	23	7	11209	—
88	2016	7	15～ 16	減温塔煤塵混練機から煤塵のサンプルを摂取する際、機械の回転を止めずに、回転の上部なら大丈夫だろうと判断し、採取しようとした所、右手に持った計量カップが巻き込まれ、右手人差し指、手の平を負傷した。	33	7	150102	30 ～ 49
89	2016	6	16～ 17	粉砕工場で粉砕機に材料を送る前の調合をしていた。多量の材料が送り込まれ、粉砕機が止まったので詰まった材料を取り出し再可動確認後一度スイッチを切り止まるのを待っていたが残っていた綿が気になり取り除こうとして右手を負傷した。	57	7	10209	30 ～ 49
90	2016	6	10～ 11	風呂改修工事現場に於いて、下地材に使用するモルタルをミキサーで攪拌作業中、モルタルが硬すぎてミキサー側が回転してしまい、その際、左手親指を回転したミキサーで捻られ負傷する。	38	7	30202	1～ 9
			14～	リサイクル工場で、投入コンベヤの上から、粉砕機内の材料を				1～

99	2016	4	19～ 20	工場にて成形作業中、バリを粉碎機に投入していったところ通常は階段を2段上がってバリを投入するが階段を上がらず作業していた。そのため、バリが枠内に入らず跳ね返ってきて、左手の薬指に当たり負傷した。	28	4	10805	10 ～ 29
100	2016	3	17～ 18	黒糖製糖室で黒糖の冷却かくはん作業中に冷却かくはん機が一時停止中を停止と被災者が誤認し、かくはん機の砂糖を落そうと右手を入れたと同時にスイッチを入れかくはん機に巻き込まれ、右手の中指と薬指を負傷した。	41	7	10109	1～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。